

北区自治協議会 部会会議概要

地域づくり部会 p. 1-2

福祉教育部会 p. 3-4

自然文化部会 p. 5

第 19 回 地域づくり部会 会議概要

日 時	平成 31 年 1 月 17 日（木曜） 午後 2 時 40 分から午後 3 時 30 分
会 場	豊栄地区公民館 視聴覚室
出席委員	本間（久） 部会長、阿部（恵） 副部会長、倉島会長 阿部（康） 委員、阿部（淳） 委員、五十嵐（隆） 委員、上松委員、 川島委員、本間（藤） 委員、山賀委員
欠席委員	小林委員
事務局 関係課	建設課長、産業振興課長、地域総務課（清水、中川、浦松、高野）
会 議 要 旨	<p>1 平成 30 年度自治協議会提案事業について</p> <p>「ノーザン ミュージック フェスティバル 2018」の決算について 9 月 30 日に開催された同イベントについて、阿部（淳）委員から決算 報告が行われました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラウドファンディングは達成できないと全て失われてしまう。未 達成を避けるため、企業協賛の一部を当該企業に説明のうえ、クラ ウドファンディングの形としていただいた。 ・開催日当日台風接近のため、外部イベントを中止した。その分の会 場設営費が少なくなったため余剰金が発生。余剰金は規約に基づ き、市へ返金することとした。 ・キャンセル料が発生したものは無い。レンタルした物品は全て利用 した。 ・1 月 30 日の実行委員会で会計報告をする。 <p>2 平成 30 年度自治協議会提案事業について</p> <p>「地域防災力向上事業」について 事務局から同事業の経過報告が行われました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災士資格取得養成講座を 12 月に受講した 7 人全員が合格し、防 災士資格を得た。 ・申込は 8 人であったが、1 人当日の体調不良で受講できなかった。 ・1 月 19 日にフォローアップ研修を開催。 ・2 月中旬には部会委員にも参加いただける回を予定している。 <p>[主な意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時のボランティアとのマッチングはどの様に行うのか。 <p>→（事務局）災害時には社会福祉協議会にボランティアセンターが</p>

設置され、マッチングをお願いする。

- ・ A E Dは、研修を受ける機会が増えており、使用できる人が増えているが、実際にどこに置いてあるか、設置場所の周知も必要では。
→ (事務局) A E Dは高額であるうえ、パットなど消耗品も定期的な交換が必要であり、レンタル品もあるが、現状は設置場所が限定されている。また、常に利用できる場所ではなく、施錠されてしまう建物内に置かれている場合もある。設置場所の周知について、今後の課題としたい。

3 その他

「第6期の振り返り」について

「最終的に取りまとめ、市長へ報告する基となる資料なので、6期を通して感じたことなど、各々の意見を提出いただきたい」と事務局から説明がありました。

第 19 回 福祉教育部会 会議概要

日 時	平成 31 年 1 月 17 日 (木) 午後 2 時 40 分～午後 3 時 30 分
会 場	豊栄地区公民館 第二研修室
出席委員	渡邊（正之）部会長、梅津副部会長、五十嵐（紀子）委員、曾我委員、若月委員 高橋委員、真壁委員、村中委員、岡委員
欠席委員	工藤委員
事務局 関係課	健康福祉課長、北出張所長、豊栄地区公民館長、北区教育支援センター所長、 地域総務課（本田、吉澤、佐藤）
会議要旨	<p>1 平成 30 年度自治協議会提案事業「区民の一体感醸成プロジェクトーみんなの区役所づくりー」について</p> <p>事務局より、第 1 回ワークショップ検討会（12 月 26 日開催）の報告を行いました。</p> <p>〔主な意見〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップでは、参加者それぞれが自身の活動分野を意識した発言が多かった。様々な分野から参加者が選出されており、多様な意見を聞くことができ非常に有意義だった。 ・イベント開催等、交流スペースの柔軟な使い方に関して積極的に意見が交わされた。第 2 回では、通常時の具体的なレイアウトを検討する予定。 ・東区プラザには子ども向け施設が充実している。いつも親子連れが多く、イベント（パンや食品販売等）も多数開催されている。人を呼び込むうえで、物品販売はヒントになると思う。 ・区役所は「用事」がないと、なかなか訪れる機会が少ない。平日昼間に区役所を利用する層は、高齢者や子育て世代と思う。彼らにフォーカスしたイベント等を開催したら、集客が見込めるのでないか。 ・公民館祭りや北区展の展示が同スペースで開催されると、公民館を拠点とする各サークルの発表機会を確保できる。現在、サークルも高齢化が進んでおり、新規加入が少ない。同スペースがその一助になればと思う。 ・高齢者になると、対面して座れるイスやテーブルがほしい。ゆっくり休憩できるよう配慮された設備を検討してほしい。 ・北地区公民館のフリースペースは、中高生がよく勉強している。簡易的で構わないから、勉強できる設備があるとよいのでは。

	<ul style="list-style-type: none">• ワークショップでは、女性集客に関することがよく話題になるが、一方で男性集客についてあまり意見が出ていない。次回以降、男性のことを意識した発言にも期待したい。• 区役所に来庁した際に、立ち寄ってみたいとなるスペースを提案できるよう、引き続きワークショップを展開してほしい。 <p>2 小中学校エアコン設置事業の進捗状況について 北区教育支援センター所長より、進捗状況と今後のスケジュール等について報告を行いました。 →意見等なし。</p>
--	---

第 20 回 自然文化部会 会議概要

日 時	平成 31 年 1 月 21 日 (木曜) 午後 2 時 40 分～午後 3 時 10 分
会 場	豊栄地区公民館 第一研修室
出席委員	阿部 (美) 副部長、赤間委員、渡邊委員、川居委員、松田副会長
欠席委員	内川委員、後藤委員、高口委員、若尾部長
事務局 関係課	区民生活課長、産業振興課 (西脇)、地域総務課 (宇野、貝瀬、高田)
会議要旨	<p>1 平成 30 年度 福島潟の魅力発信事業について</p> <p>ラムサール条約登録への機運醸成展示について、環境政策課が作成した資料 (案) の確認・検討を行いました。</p> <p>〔主な意見〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネルにするには文字が多く、子どもに分かりにくい表現が多い。 ・イラストや写真を多く使用して、例えば現在の条約登録地をマークした日本地図を最初にもってくるなどして、視覚的にうたえられると良い。 ・現在の資料もよく読むと分かりやすい。配布資料にしても良いのではないか。 ・福島潟について、条約の登録が治水工事に影響がないことや、治水対策をかねた環境保全を行っている特徴を紹介できると良い。 <p>2 平成 31 年度委員提案事業について</p> <p>「子どもと音楽の出会い創出」事業について、演奏候補者との調整結果などについて、事務局から報告が行われました。</p> <p>また、「潤いの福島潟創出」事業に関連して、委員から提案が挙げられました。</p> <p>〔主な意見・提案〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み期間中の公共施設利用促進バス事業と併せ、『河童のユウタの冒険』に関連するイベントとして、子どもたちに潟やラムサール条約について学んでもらい、その発表会を行うと良いのではないか。十二潟では、子どもたちが熱心に勉強して成果も出ている。 ・福島潟に近い小学校でも、福島潟まで学習に出かける学校と、そうでない学校がある。小学校に働きかけてみると良いだろう。